

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。		
2 評価する領域・分野	◇総合学科		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクールや検定への積極的な取り組みがなされ、知識や技術の定着に役立っていると回答した生徒が83.3%と高い評価であった。 ・地域の方々と積極的な交流を図り、外部の声を取り入れ、教育の向上に努めていると回答した保護者が48.4%と全体の半数を下回り、地域連携等により、外部の教育力を積極的に活用する必要がある。 		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇各教科、専門教科の専門性を深化させることができるよう、ICT機器の活用をはじめとした授業実践に努め、生徒たちが自己肯定感を抱くことができるようにする。 ◇様々な活動を通して仲間と共に学ぶ良さを知り、コミュニケーション力・表現力をはじめ、課題設定力、問題解決力などの育成をはかる。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科会議、科目「産業社会と人間」の担当者会議、各教科会議により、学科行事の推進やICT機器の活用について検討する。 ・担当者会議により「城北Co-Market」をはじめ、地域をテーマにした取組を推進する。 		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) ICT機器を用いた授業改善に取り組み、教科に関する専門性を深化させ、模擬試験や検定等への挑戦、展覧会へ出展させる。 (2) 地域に対する愛着を育むことができるよう、各種の取組を発展・充実させる。	(1) 模擬試験結果、検定の合格状況、各種の入賞の状況、授業評価アンケート (2) 城北Co-Marketへの来場者数、実施後アンケート結果、生徒の感想等		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・manabaの研修会等による授業改善の実施 ・模擬試験や検定への挑戦、展覧会への出展 ・城北Co-Market、岩野田中学校との交流、子育て外遊びマップの作成、岩野田中学校での絵本読み聞かせ、インターンシップ(芸)、SDGs研修会等の実施 	①授業評価アンケート結果 ②模擬試験の結果、検定の合格状況等 ③アンケート(感想を含む)	A (B) C D A B (C) D A (B) C D	
11 成果・課題	○manabaの研修会、MetaMojiの効果的な活用に関する情報交換等により、コロナ禍における指導の充実や反復を必要とする指導の改善をはかることができた。 ○生徒の作曲活動を含め、新たな取組を実践することで学科のPRができた。同時に生徒の表現力、コミュニケーション力の向上等に繋げることができた。 ▲商業における検定試験の結果が向上するよう、指導方法の工夫・改善、計画的な指導、生徒のモチベーションアップにつながる機会の設定等が必要である。 ▲入学する生徒の実態が年々変化するなかで、学科として生徒に身に付けさせたいこと(学習習慣や基本的な生活習慣の確立、整った身だしなみ・マナーなど)をどのように指導していくべきか、検討する機会をもちたい。		
12 来年度に向けての改善方策案	新教育課程スタートを迎え、生徒の実態も変化していることから、授業内容や指導方法、学科行事等を再考する時期となった。学科の特質から「どんな生徒を育てたいのか」を担当者で再確認し、共通理解のもとで魅力ある学科作りを推進していきたい。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月14日

【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> ・岩野田まちづくり協議会では、『岩野田まちづくりビジョン』を策定している。地域の散策マップや健康ウォーキングマップを、本校と連携して作成したい。また、地域で力になれること等、何でも相談してほしい。 ・3年間学んできたことの集大成で、それぞれの学科・コースの生徒が真剣に取り組んでおり感動した。本校らしさをこれからも表現して行ってほしい。 ・コロナ禍の状況で様々な行事が中止になる中、オンラインで発表を配信できたことはとてもよいことである。
--